

# CHIBA

東日本ユニオン千葉地方本部

発行者: 末永 健

編集者: 情宣 部

**みんなの「声」が出し渋る経営側を動かした！**

## 2024春闘

**激励・応援、そして「本音」などなど…**

**お寄せいただきありがとうございました！！**

私たち東日本ユニオンは3月15日に「2024年賃金改定に関する申し入れ」に対し「昇給係数4」と「エルダー社員の基本賃金の引上げ額」については満額回答だったこと。社員の基本給引上げは要求額に迫る回答を引き出したことなどを勘案し「妥結」を判断しました。

この間、職場で働く多くのJR労働者から激励・応援の声が寄せられました。その中には、職場でどこにも吐き出せない「本音」や「現状への不満」といった切実な声も多数含まれていました。私たちはそのような「声」を経営側へぶつけるとともに、粘り強い交渉を重ねてきました。今回、出し渋る経営側を動かしたのは私たちJR労働者の「声」といっても過言ではありません！

私たちが目指す「ベースアップは社員一律であること」について、今2024春闘においては残念ながら叶いませんでしたが、今後の課題として継続して取り組んでいきます！

多くの声を寄せていただき、本当にありがとうございました！

## 次のたたかいは「2024年度夏季手当！」



2024年度夏季手当について、職場で話題になっています。なぜ、今年はこの時期なのでしょう？会社は「新賃金と夏季手当を一緒に検討すれば年収ベースでの見通しが立つ」と言っていますが、本当ですか？年度末決算も出ていないのに早々と決めてしまっているの？このようなやり方だと、誰が得をするのかみんなをよく考えてみましょう。

本来は「決算が出てから、その成果配分を社員に対し、正当に支給する」のが筋ではありませんか？判断する数字も出ていないのに支給月数を決めることは人件費の抑え込みとしか言いようがありません！私たち東日本ユニオンは年度末決算を見て、しっかり判断・要求します！

**人件費の抑え込みは許しません！私たちは年度末決算を見て、しっかり要求します！**